



好き、楽しい = 伸びしろ = 可能性

学期末のアンケートへのご協力ありがとうございました。同様に、子ども達へも2学期の学校生活を振り返ってもらいました。1学期末と比較した結果です。

質問	1学期	2学期	増減
好きなことがある。	95.8%	91.9%	-3.9
好きな学習がある。	92.1%	90.4%	-1.7
夢や目標がある。	84.1%	80.4%	-3.7

全校児童の90%以上が、学校生活が好きですが、残念ながら、1学期と比べると若干下がっていますし、夢や目標をもつことができていない子が増えているという結果でした。

さらに、「好き」の要因である「楽しさ」の度合いについて、4点満点で答えた結果です。

質問	1学期	2学期	増減
学校が楽しい	3.62	3.57	-0.05
学級が楽しい	3.61	3.57	-0.04
学習が楽しい	3.58	3.49	-0.09
友達と一緒に学習することが楽しい	3.73	3.69	-0.04
学習で「わかった」「できた」と思う	3.51	3.50	-0.01
学習で「面白そう」「やってみよう」と思う	3.47	3.47	+0

僅かではありますが下がっています。ここで、今一度、今年度めざしている「○○好きな子ども」について。

大切にしていることは、「～が楽しいことだから好き」ということではない、ということです。「～が得意だから、上手だから、できるから、好き」だけではない、ということです。

「算数は苦手だけど、算数が好き、楽しい！」という子ども達に、「どうして苦手なのに、算数が好きなの？楽しいの？」と尋ねてみました。すると・・・

- ☆問題が解けて「よっしゃ！」って思うところ
- ☆分かったと、どんどん解けて嬉しいから
- ☆友達が優しく教えてくれるから
- ☆先生がわかりやすく教えてくれるから
- ☆やっぱり難しいけどちょっとずつ分かってきたから
- ☆自分の力だけで解ける時もあるから

- ☆いいね、すごいね、と言われて嬉しい
 - ☆間違っていたら悔しいけどみんなで考えたら楽しい
 - ☆問題が解けたらすっきりするから
 - ☆ちょっとずつできていって算数の楽しさがあった
 - ☆6年生でも頑張って算数の勉強をしたい！
- といったことを書いてくれました。これがまさしく本校がめざす「○○(算数)好きな子ども」の姿だと思いました。このことから、「好き」や「楽しい」は、壁を乗り越えたり目標に向かって努力したりする過程や結果、「やればできる感」や「もっとやれる感」を味わう先にあるものだと思います。「6年生でも頑張って算数の勉強をしたい！」という言葉が表しているように

好き、楽しい = 伸びしろ = 可能性

だと思えます。子ども達の「伸びしろ = 可能性」をさらに大きくするために、今回の結果について、要因を分析し、3学期からの教育活動に生かしていきます。今後ともよろしくお願いいたします。

保護者の皆様ありがとうございました。よいお年をお迎えください。

2学期の終業式を迎えました。子ども達一人一人の「好き」がたくさん増えた2学期となったことを信じています。

2学期は、日々の学習、学校行事を通して「体験」を重視した教育活動を行ってきました。運動会、サツマイモ収穫、学習発表会、秋の遠足、社会科見学…。子ども達はとても価値あるリアルの体験ができました。それは、保護者の方々をはじめ、地域の方々たくさんの方々に支えられてのことです。誠にありがとうございました。

3学期もよろしくお願いいたします。よいお年をお迎えください。

3学期は令和6年(2024年)1月9日(火)からスタートです。



Merry Christmas and Happy New Year

